

【7/14 横須賀開催】セミナーのご案内

時間	セミナータイトル	セミナー概要	プレゼンター
13:00～13:15	電波伝搬シミュレーションを活用した事例紹介	これまで経験と勘に頼ってきた置局設計において、昨今シミュレーションソフトを利用し、事前に状況を可視化するニーズが高まっています。そこで、弊社情報工房からは、電波伝搬シミュレーションソフト「WinProp」を利用した事例を紹介したいと思っております。	AWE Communications (株式会社 情報工房) 製品サポート部 浅利 直栄
13:15～13:30	Spotfireによるデータ可視化と分析力向上のためのテクニックのご紹介	本セミナーではSpotfireの強力なデータ分析機能をご紹介します。Spotfireは、データ分析のための先進機能を提供しており、「トレンドを予測し先手を打ってリスクを最小限にする」「確信を持って意思決定を行う」といったことも可能になります。基本機能のご紹介と共に最新の分析環境で実現するデータ可視化の事例をご紹介します。	日本ティコソフトウェア シニアパートナーマネージャー Spotfire製品担当 三宅 直矢
13:30～13:45	高分解能衛星および高頻度撮影衛星を使った解析ビジネス	NTT空間情報では、世界最高の高分解能衛星 (DigitalGlobe)と、世界最高の高頻度撮影可能な小型衛星 (PlanetLabs)を使った新たなビジネスを開始いたします。本セミナーでは、DeepLearningをはじめとする最新技術と、日本はもとより世界中の画像をターゲットにしたビジネスの具体例をご紹介します。	NTT空間情報株式会社 ビジネス開発部 サテライトグループ 日置 和之
13:45～14:00	企業のマーケティング活動を変える新潮流～顧客満足度を最大化する「パーソナライズドビデオ」とは～	企業のマーケティング活動において、その費用対効果の大きさから、新しいビデオ技術、「パーソナライズドビデオ」の活用が広がっている。パーソナライズドビデオとは顧客のパーソナルな情報をビデオに埋め込むことによって視聴者の関心と満足度を高める技術である。本セミナーではパーソナライズドビデオの技術とその活用事例について紹介する。	ピソニーボウズ・ソフトウェア株式会社 営業技術部長 福田 慎
14:00～14:15	2020年を見据えた近未来ネットワークの検証に向けて	2020年のネットワークはどうなっているのか、どうあるべきか。高度化&高速化するテストニーズに別々の測定器で対応するのではなく、なるべく統一されたテストプラットフォームで実現していきます。	株式会社東陽テクニカ 松葉 俊信
14:15～14:30	GleanPacketsを使用したキャプチャデータPCAPの有効活用について	ユーザが、キャプチャ装置やTCPDUMPなどで収集し、大量に所有するPCAPデータを有効活用する方法を提案します。	グリーン株式会社 大辻 尚
14:30～14:45	業界初、ナパテック100G ネットワーク解析ソリューションとその事例のご紹介	Interop Tokyo 2015のBest of Show Awardマネジメント&モニタリング部門でダブル受賞を獲得したNapatech社の100G ネットワーク解析アクセラレータの機能とそのユースケースをご紹介します。	ナパテックジャパン 野澤 一雄
14:45～15:00	モバイル端末～基地局区間無線システムのトラブルシューティング手法について	モバイル端末～基地局区間無線システムで生じた具体的な事例を用いながら効率的なトラブルシューティングの手法について紹介する。	エイビット 藤野 学
15:00～15:15	クラウド/IoT時代のネットワークプラットフォーム「ハイブリッドエンジンアーキテクチャ」とネットワーク仮想化「VXLAN機能」のご紹介	めまぐるしく環境が変化するIoT時代の到来に向け、ネットワーク機器には柔軟性が求められています。本セミナーでは、高速性と柔軟性を両立したアラクスラ特有のアーキテクチャと、VXLANを用いた最新の仮想ネットワークについて解説します。	アラクスラネットワークス株式会社 小林 香樹
15:15～15:30	複雑・肥大化するテスト環境への対峙	複雑・肥大化するテスト環境に対し、仮想化技術を使用して各制約事項を取り扱うことでスムーズなテストを実行させ、品質および開発スピードを向上させるCA Service Virtualizationのご紹介。	CA Technologies 武田 太